



# 4月の平日夜間・休日診療のご案内

●平日夜間診療・休日診療のお問合せは、下記へお尋ねください。

**海部南部消防署** ☎52-0119

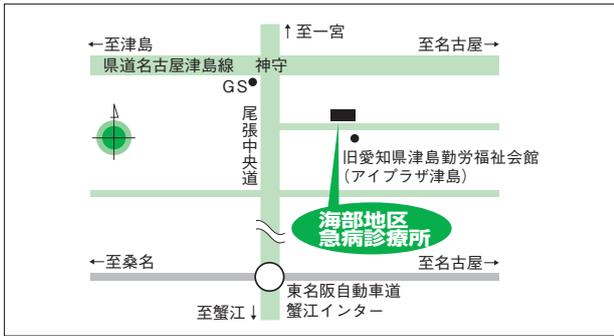
**救急医療情報センター** ☎26-1133

**海部地区急病診療所** ☎25-5210

## 海部地区急病診療所 津島市莪原町字郷西37

診療科目	診療日	受付時間
内科 小児科	土曜	午後6時～8時30分
	日曜 祝日・休日	午前9時～11時30分 午後1時～4時30分 午後6時～8時30分
	上記以外の月曜～金曜	午後8時30分～11時
歯科	日曜 祝日・休日	午前9時～11時30分 午後2時～4時30分

ホームページ <http://amaq.sakura.ne.jp>



病状等のお問合せは、受付時間内に直接お電話してください。

## くすり安心電話

- 内容 くすり、医療用品等に関する緊急の相談、質問、問合せ
- 電話番号 090-2136-3858
- 対応時間 午後9時～翌朝9時まで

休日の診療は以下のとおりです。

〈外科〉は、海部郡・津島市・愛西市・弥富市・あま市内の在宅当番医による輪番制で行っています。

※土曜の診療は、平成30年3月31日で終了しました。

〈内科〉は、海部地区急病診療所で行っています。

## 週末の担当病院です

**休日診療〈外科〉** 午後5時以降は消防署へお尋ねください。  
専門外の患者さんは、お断りする場合があります。

◆診療時間 日曜・祝日 午前9時～午後5時

日	担当病院	電話番号	所在地
1(日)	脳神経外科のぞみクリニック	052-443-5533	あま市
8(日)	森整形外科クリニック	052-445-5050	あま市
15(日)	小林クリニック	052-444-4500	あま市
22(日)	はせ川外科	24-3370	津島市
29(日・祝)	小西整形外科	052-875-7178	あま市
30(月・振休)	後藤整形外科	25-5511	津島市

## 5月

3(木・祝)	駅前ふじたクリニック	052-462-0222	あま市
4(金・祝)	彦坂外科	25-8355	津島市
5(土・祝)	奥村整形外科	052-445-5667	大治町
6(日)	つつみ整形外科クリニック	97-0223	蟹江町

## 災害用伝言ダイヤル171を知っておきましょう

●「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音

171

録音の場合は

1

××××××××××××××××××××

録音

ガイダンスが流れます。

ガイダンスが流れます。

※被災地の方も、被災地以外の方も、被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

ガイダンスが流れます。

(30秒以内)

伝言の再生

171

再生の場合は

2

××××××××××××××××××××

再生

聞きなれない言葉だと思いが、言葉の通り手術をするその少し前から入院中、そして退院後を通してお口の中を集中的に管理するというものです。

そもそもこれは、がん患者さんに対して手術を行う場合のお口のトラブルや誤嚥性肺炎・感染症の予防と化学療法・放射線治療を行う場合の口腔粘膜炎や口腔内感染等を抑えることのできる治療の向上を図るものでした。また、このようなトラブルを抑えることでがん治療を支えると同時に入院期間の短縮にも寄与することが判明し、実際に口腔管理を施した患者さんとそうでない患者さんでは有意にその差が現れました。

入院期間の短縮はとても意義の大きなことで、医療費の削減だけでなく特に高齢になるほどその後の費用やQOLの低下の抑制に直結します。

そんなこともあり、今では周術期口腔機能管理は、がん治療だけでなく応用範囲が広がっていき、全身麻酔で手術をする際全ての患者さんに勧める病院も出てきています。また、全国的には歯科や口腔外科のある病院は少なく、加えて病院内の歯科だけではこのような患者さん全員に対応できないので、病診連携を通じてかかりつけ歯科医も協力することが年々増えてきています。健康な人にはあまり関わりのない話のようですが、2人に1人はがんになるという時代です。全身麻酔をするような大きな手術を受けることになったらかかりつけ歯科医に相談してみてください。

(海部歯科医師会)

歯の健康講座

その428

## 周術期口腔機能管理について

聞きなれない言葉だと思いが、言葉の通り手術をするその少し前から入院中、そして退院後を通してお口の中を集中的に管理するというものです。

そもそもこれは、がん患者さんに対して手術を行う場合のお口のトラブルや誤嚥性肺炎・感染症の予防と化学療法・放射線治療を行う場合の口腔粘膜炎や口腔内感染等を抑えることのできる治療の向上を図るものでした。また、このようなトラブルを抑えることでがん治療を支えると同時に入院期間の短縮にも寄与することが判明し、実際に口腔管理を施した患者さんとそうでない患者さんでは有意にその差が現れました。

入院期間の短縮はとても意義の大きなことで、医療費の削減だけでなく特に高齢になるほどその後の費用やQOLの低下の抑制に直結します。

そんなこともあり、今では周術期口腔機能管理は、がん治療だけでなく応用範囲が広がっていき、全身麻酔で手術をする際全ての患者さんに勧める病院も出てきています。また、全国的には歯科や口腔外科のある病院は少なく、加えて病院内の歯科だけではこのような患者さん全員に対応できないので、病診連携を通じてかかりつけ歯科医も協力することが年々増えてきています。健康な人にはあまり関わりのない話のようですが、2人に1人はがんになるという時代です。全身麻酔をするような大きな手術を受けることになったらかかりつけ歯科医に相談してみてください。

聞きなれない言葉だと思いが、言葉の通り手術をするその少し前から入院中、そして退院後を通してお口の中を集中的に管理するというものです。

そもそもこれは、がん患者さんに対して手術を行う場合のお口のトラブルや誤嚥性肺炎・感染症の予防と化学療法・放射線治療を行う場合の口腔粘膜炎や口腔内感染等を抑えることのできる治療の向上を図るものでした。また、このようなトラブルを抑えることでがん治療を支えると同時に入院期間の短縮にも寄与することが判明し、実際に口腔管理を施した患者さんとそうでない患者さんでは有意にその差が現れました。